



子どもの貧困対策 がスタート

●第2回定例会で具体化された事業(主なもの)

就学援助の前倒し支給

就学援助のうち、中学校新入学学用品等購入費を中学校就学前に支給。小学校については、前倒し支給の早期実現に向け、必要な検討・整備をおこなう。

子どもの居場所づくり支援

NPO やボランティア団体等が地域と連携しながらとりくむ居場所づくり(子ども食堂)の運営経費の一部を補助することで、居場所づくりの推進を図る。

ひとり親家庭の学習支援

ひとり親家庭等の中学生に対し、学習習慣の定着、基本的な生活習慣の習得、社会性の養育等を目的とした、子どもの状況に寄り添った学習支援事業を実施。

子どもの未来のための養育相談

区役所の児童手当等申請窓口の隣に「ひとり親家庭等相談コーナー」を設置し、相談員のカウンセラーや子どもの養育費等の法律相談のための弁護士を配置。

切実な
子育ての要望
が実現



北区が今年の3月に策定した「北区子どもの未来応援プラン」(東京都北区子どもの貧困対策に関する計画)がいよいよ始動します。6月22日まで開かれていた北区議会第2回定例会で、子どもの貧困対策にかかわる事業が具体化されました(別項参照)。この中には、日本共産党も練りは、日本共産党も練り

返し要望し、今年度の子算組み替え動議でも提案した小中学校の就学援助の前倒し支給などが盛り込まれ、切実な子育ての要望が実現にいたしました。

今後日本共産党として、子どもの貧困を根絶するために全力をあげる決意です。(のの山けん)

核兵器禁止条約 国連で採択

日本共産党・志位和夫委員長が歓迎の声明

7日、人類初となる核兵器禁止条約が、ニューヨークの国連本部で開かれていた「交渉会議」において採択されました。会議に参加した日本共産党の志位委員長は、心から歓迎する声明を発表、エレン・ホワイト議長とも固く握手を交わしました。



握手するホワイト議長(左端)と志位委員長

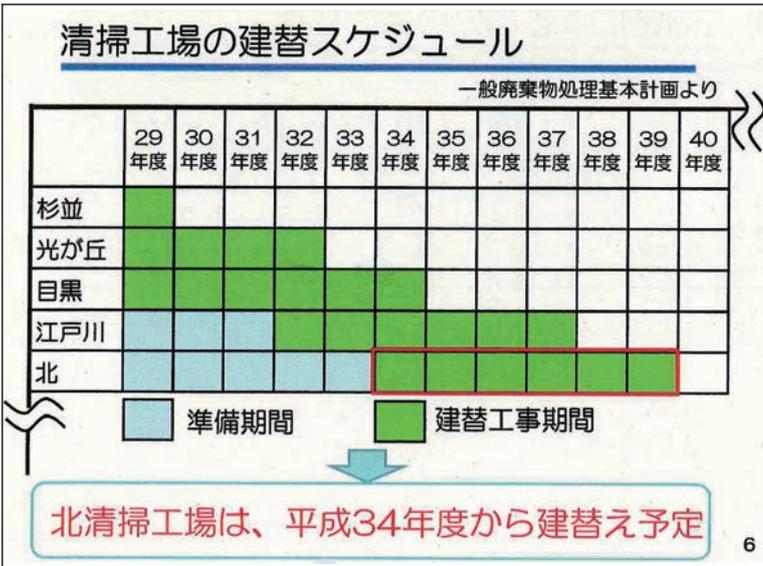


北清掃工場

建替えへ

二十三区

清掃一組が
事前説明会



東京二十三区清掃一部事務組合が事前説明会で示した資料より

2022年度着工、27年度竣工

5月26日、27日の両日、北清掃工場建替事業事前説明会が元気ぶらざで開かれました。

説明に立った東京二十三区清掃一部事務組合の計画推進担当部長は、都内に21ある清掃工場を老朽化したものから順次建替えており、北清掃工場については一定の準備期間の後、2022年度に着工、2027年度に竣工というスケジュールで建替工事を計画していることを明らかにしました。

説明に対し、参加者から「建替協議会に赤羽南自治会の代表を」「工事中の還元施設の使用は」など、多くの意見や要望が出されました。

のの山…建替工事の間、還元施設である元気ぶらざの温水プール、集会施設は、サービスの提供を続けてもらえるのか。

建替工事中における 元気ぶらざの運営

区…建替協議会のメンバーは清掃工場運営協議会のメンバーと同じとすることが基本。当該自治会の役員会に足を運び、メンバーとはしないが、工事説明を丁寧におこなうことで了解を得たものと考えている。

のの山…赤羽南自治会から建替協議会への加入の申し出があったと聞いているが。

建替協議会への赤羽 南自治会の加入

6月16日に開かれた北区議会区民生活委員会で、北清掃工場の建替工事に関して、のの山けん区議がおこなった質疑を紹介します。

区議会区民生活委員会

北清掃工場建替事業をめぐる質疑(概要)

区…旧志茂西ふれあい館は昭和45年に志茂区民館としてスタート、平成10年に元気ぶらざに集会機能が移っているため、現在は、還元施設と考えていない。

のの山…工事説明会の中で区の担当者が「旧志茂西ふれあい館は還元施設とは認識していない」との言明があり、参加者から疑問の声が出ていたが。

旧志茂西ふれあい館 の位置づけについて

区…元気ぶらざ自体は建替の対象となっていないが、施設が老朽化しているため、清掃工場の建替工事中に施設の改修をおこなうことになれば、一時的に休館になることもありうる。温水プールについては、清掃工場の熱供給が止まるとボイラーで湯を沸かすことになり、経費もかかるので、サービスを提供できるかどうかは、今後検討する。